

平成24年度第1回成田市地域公共交通会議の概要

1 開催日時

平成24年4月24日(火) 午後3時～午後3時50分

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

3 出席者

(委員) 18人

諸岡会長、黒田委員、一色委員、大澤委員、大木委員、佐藤(勇)委員
松室委員、伊藤委員、遠藤委員、宮崎委員、佐藤(克)委員、成毛委員
田中委員、木内委員(代理 早水)、米本委員(代理 山崎)、飯田委員
深山委員、古関委員

(事務局)

交通防犯課 貝原塚課長、秋山副主幹、石井主査、山倉主任主事
高齢者福祉課 佐久間課長、神崎裕一副主査

4 協議事項

- (1) オンデマンド交通実証実験の報告について
- (2) オンデマンド交通の運行内容の変更について
- (3) その他

5 会議の概要

議長： 協議事項(1) オンデマンド交通実証実験の報告について、担当課から報告をお願いします。

高齢者福祉課： 成田市オンデマンド交通実証実験の報告を資料にもとづいて、説明いたします。利用者登録者状況は3月末現在408名ですが、今日、現在の集計では430名となっております。男女別では、男性119名、女性289名で、年齢別では80歳から84歳までが149名で36.5%を占めております。また、地区別では中郷地区23名、久住地区143名、豊住地区85名、下総地区157名です。

次に、乗降場設定状況についてですが、実験エリア内では中郷地区44カ所、久住地区95カ所、豊住地区48カ所、下総地区98カ所となっていて、実験エリア外では市役所、京成成田駅、ボンベルタ、イオン、成田赤十字病院、成田病院など31カ所の合計316カ所となっております。

す。

次に、運行利用状況の月別利用者数についてですが、直近の3月の運行日数は22日で、延利用者数300名、1日平均13.6名、実利用者数79名、複数回利用者数では13回1名、11回3名、10回4名が主なものです。また、延べ利用者数についてですが、12月159名、1月166名、2月288名、3月300名とだんだん増えてきております。字別利用件数は、南羽鳥81件、成井46件、名古屋42件が件数の多い地区です。月別行き先上位は、直近の3月で1位成田赤十字病院87件、2位成田病院41件、3位ジャスコイオン成田店36件が行き先の多い場所です。

次に、時間帯別利用件数についてですが、10時台が50件で一番多く、行き先は成田赤十字病院、イトーヨーカドー、イオンが多くなっております。

次に、現状と課題についてですが、オンデマンド交通システムは、現在のところ、迎えに行く時間や目的地に到着する時間に遅れなどなく、利用者からは大変喜ばれております。なお、平成24年3月末現在、実利用者数は117名で、未利用者数291名となっております。

次に、今後の予定についてですが、現在、実際に利用されている方には、月の利用回数、主な行き先、乗降場に設定してほしい場所を、一方登録してあるものの、まだ一度も利用されていない方には、その理由、乗降場や行き先の希望を尋ねるアンケート調査を行っておりますので、その結果を次回の会議で報告したいと思います。また、実証運行期間がまだ4カ月ほどで、実験データとしては不足していることから、高齢者の足として有効であるのか、利便性に長けているのか、このシステムを検証するために実験内容等の拡大を図り実証運行を継続してまいります。

以上で、オンデマンド交通実証実験の報告とさせていただきます。

議長： これより、質問・意見をお受けいたします。

委員： 利用者は年齢で制限されているのか。また、運行地域は成田市全域ですか。

高齢者福祉課： 年齢は70歳以上対象とし、運行地域は、現在、実証実験中ということで、中郷、久住、豊住、下総の4地区を対象にしております。

委員： 料金はいくらなのか。

高齢者福祉課： 距離数に関係なく、1回300円です。

委員： 既存のコミュニティバスとの関係で増加したかどうか、わかりますか。

しょうか。

高齢者福祉課： 今回のアンケート調査では、特にコミュニティバスとの関係はわかりませんでした。ただ、今回の実証実験は東大のシステムを利用しておりますので、コミュニティバスとの関係についても、ご指導をいただきたいと思います。

委員： 4カ月の実証実験の結果、大幅な利用者の増加は見られないが、着実に少しずつ増加しているようですが、利用者数が増えたのか、それとも個人が複数回利用している関係で増えているのでしょうか。

高齢者福祉課： 平成24年3月現在、408名の登録者数に対して117名の実利用者数となっており、登録はしてあるが一度も利用していない方が291名おります。また、運行利用状況の2月ですが1名が25回利用しているなど、ばらつきがあります。

委員： 実証実験の広報は、どのような方法で行っているのか。

高齢者福祉課： 実証実験対象地区に担当者が出向いて重点的に説明したり、他に地区社会福祉協議会や老人クラブへの説明や区長回覧を行っております。また、登録してある方に直接通知を出して利用を促進しております。

委員： 実証実験をして4カ月経過しましたが、想定どおりの予測だったのか、それとも少なかったのか、多かったのか、そのへんの見解をお願いします。

高齢者福祉課： 実証実験エリア内の70歳以上の方は約3,100名おります。その中から介護認定の要支援、要介護を受けている方、高齢で車に乗れない方を除きますと約2,600名の方が対象になります。その内の2割の約500名を登録者の目標としました。現在の登録者数は430名ですので、約70名目標より少ないと思われまます。また、1日の利用者数ですが、3月で13.6名となっておりますが、登録者数から試算すると25名から30名の方に利用していただきたいと思っております。

委員： 路線と時間を決めて運行しているのか。

高齢者福祉課： 路線は、特に決めておりません。利用する方が電話で予約をし、迎えに行き乗合いで運行しております。

議長：他に質問、意見がないようですので、以上で、協議事項の（１）オンデマンド交通実証実験の報告について終了させていただきます。

続きまして、協議事項の（２）オンデマンド交通の運行内容の変更について、担当課から説明をお願いします。

高齢者福祉課：成田市オンデマンド交通実証実験の運行時間及び運行の拡大について、提案いたします。実証実験が１２月５日から始まりまして４カ月であり、今後の高齢者の足として、もしくは利便性の提唱といふことで今後の需要の把握をしたいと思います。

現在の運行は、月曜日～金曜日の祝日を含む 7:00～16:00 までで、運行台数は１日３台としております。

拡大及び延長（案）ということで、月～金の祝日を除く 7:00～18:00 までの２時間延長し、運行台数は１日３台です。新たに土曜日及び月曜日～金曜日の祝日の時間枠を設定いたします。運行時間を 8:00～17:00 までとし、運行台数を１日２台とします。この拡大及び延長につきましては本日、この会議で同意を得まして関東陸運局への届出の終了後、運行開始となります。

委員：平日と、土曜日及び祝日をあえて分ける必要があるのか。分けた場合、戸惑って混乱すると思いますので、すべて同じ運行時間にできないのか。また、日曜日の運行はしないのか。

高齢者福祉課：確かにすべて同じ運行時間にした方がよいと思いますが、予算の関係からこのようになっております。また、日曜日の運行についても、同じ理由から難しいと思います。

委員：予算がないという前に、実証実験なので利用者が戸惑わないように考えないといけないと思いますがどうでしょうか。

高齢者福祉課：いろいろ意見をいただきましたので、すべて同じ運行時間の 7:00～18:00 に統一したいと思います。

議長：それでは、オンデマンド交通の運行内容の変更につきましては、すべて同じ運行時間の 7:00～18:00 に統一し、日曜日の運行は今後の課題としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

議長：ご異議なしと認め、本協議事項につきましては運行時間を統一することで承認することに決定しました。

続きまして、協議事項の（３）その他について、事務局から何かございますか。

交通防犯課：昨年の１０月に協議をいただきましたコミュニティバスの一部ルート変更についてですが、この４月から実施しておりますので説明させ

ていただきます。

豊住ルートについては、北羽鳥地区、南羽鳥地区で国道 408 号線を運行しておりましたが、集落内の市道を通るルートに変更し、併せてバス停を設置しました。津富浦ルートについては、リバティヒル団地から津富浦小学校へ通学する児童が多いため、交通安全の観点から団地内へバスを運行するよう変更しました。津富浦ルートの桜田経由便についてですが、新田地区を経由するルートへ変更し、併せてバス停を設置しました。しもふさ循環ルートについては、成井地区から地蔵原新田の同じルートを折返し運転していましたが、新たに三和地区、倉水地区を経由するルートに変更しました。

このルート変更に関しては、特に苦情等もなく順調に運行しております。今後もコミュニティバスの利便性を図るため、より一層の向上を目指したいと思います。

議 長： 他にないようですので、以上で協議事項を終了させていただきます。
以上をもちまして、平成 24 年度第 1 回成田市地域公共交通会議を閉会
します。

6 傍聴

(1)傍聴者 5人